

「平和な世界」
ジンバブエ 人の暮らしと青年海外協力隊の働き

松本 みどり

川崎市立菅生中学校

実践教科：社会科・7時間

対象学年：2年生 対象人数：160人

(1) 実践の目的

①ジンバブエの学習を通し、発展途上国の現状を知らせる。

アフリカの発展途上国はというと、生徒は一律に「貧しい国」と考える。「貧しい国」とはどのようなことを示すのか。また、その中での一人ひとりの生活はどのような生活であるのか。私自身にとっても垣間見たものに過ぎないが、できるだけジンバブエで出会った人々の様子、国について知らせる機会としたい。

②青年海外協力隊の働きを知らせる。

2学年の生徒は国語の教材で「国境なき医師団」の働きについて学んだ。海外でのボランティア活動とはどのようなものであるか、研修で実際に出会った隊員の働きを紹介することにより、隊員の課題を生徒にジンバブエについて考える教材としたい。

③「平和な世界」を築くために、自分の行動計画を考えさせる。

ジンバブエの現状から、課題解決のための手立てを考えさせる。ジンバブエの現状と自分の生活とが結びついていることを知らせ、「平和な世界」を築くことが、自分たちの気づきや努力の積み重ねであることに気づかせる。現在の自分が取り組むことができることや将来取り組みたいことを考えさせる。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 限目 イメージ確認 ・ジンバブエを知っているか ・青年海外協力隊とは	① ジンバブエの位置などから、国のイメージを描いてみる。 ② 新聞記事から青年海外協力隊について、イメージや知りたいことをまとめる。	① アフリカ地図 ② 新聞記事
2 限目 (課題設定) ジンバブエ フォトランゲージ	グループ作り (4~5人編成) 写真から、ジンバブエの現状に気づく ① 各班1枚の写真を選び、選んだ理由・気づいたこと・感想・質問をまとめる	① ジンバブエ写真 ② ワークシート
3 限目 (探求) ・協力隊隊員によるジンバブエ	写真やテーマの資料を読み取り、新たな気づき・感想・疑問をまとめる	① ジンバブエ写真 ② 協力隊隊員による資料 ③ ワークシート
4 時限目 (探求) ・日本とジンバブエ	① 統計資料から日本とジンバブエの比較を行う。	① ジンバブエ概要・統計資料

	② ジンバブエの歴史概要を知る。 ③ 新たな気づき・感想・疑問をまとめる	② ワークシート
5 時限目 (探求・共有化) ・ ゲストを迎えて、 中間発表会	① 班ごとに、写真や資料の紹介や課題について発表する。 ② ゲストに質問したり、他の班から得たりした情報からジンバブエについてまとめる。	① 発表用パネルシート ② ワークシート
6 時限目 (行動計画) 「平和な世界」 実現に向けて	学んだジンバブエの現状や課題を踏まえ、「平和な世界」とは、どのような世界か考え、またそれを実現するための個人の行動計画を考える。	① ワークシート
7 時限目 (発表・まとめ) 「平和な世界」発表会 お礼の手紙	① 「平和な世界」について、また行動計画を発表する。 ② 青年海外協力隊の隊員にお礼の手紙を書く。	① 発表用パネルシート ② ワークシート ③ 手紙用紙

(3) 授業の詳細

○1 時限目 (ジンバブエ訪問前：協力隊隊員へのアンケートのための資料収集)

- ・ 世界地図からアフリカ、ジンバブエをみつけさせ、位置と気候を確認させる。
その後ワークシートに「ジンバブエのイメージ」「ジンバブエについて知りたいこと」を記入させる。
- ・ 読売新聞記事「アフリカの大地より」の、ジンバブエで活躍する青年海外協力隊隊員の記事を読む。ワークシートに「青年海外協力隊隊員のイメージ」「青年海外協力隊隊員について知りたいこと」を記入させる。

この生徒のワークシートは回収し、生徒のジンバブエについての意識や、青年海外協力隊についての理解を把握し、今後の教材作成やジンバブエでの協力隊隊員へのアンケート項目の資料とした。

[生徒記載]

ジンバブエのイメージ

暑そう。黒人。学校が少ない。草原に動物がいる。食べ物は豊富ではない。
興味があること

学校生活。家の造り。交通機関。

青年海外協力隊

大変なことや困ること。自分の変化。

○2 時間目 (ジンバブエ訪問後)

・ フォトランゲージ

ジンバブエで撮影したり、協力隊隊員に依頼したりして収集した写真から環境・農業・工業・小学校・中学校・職業訓練校・エイズ・生活の8テーマを設定した。(生活と中学校については2組ずつ組み写真を作成し、合計10組作成)写真5枚で1組とし、

そのうち1枚を選び、10枚の写真を生徒に提示した。

各クラス9グループ編成で、1グループに1枚ずつ写真を選ばせる。

- ・ワークシートに以下のことを記入させる。

写真を選んだ理由やこの写真に興味をもったところ。

5枚の写真から気づいたところ。自分が感じたこと。

知りたいこと。

〔生徒記載〕

- ・生活

都市は日本と同様にビルがあり、発展している様子。地方は木の家。道路がまっすぐ。

○3 時間目 協力隊隊員によるジンバブエ

- ・テーマごとに、それぞれの分野の協力隊隊員による読み物資料を配布し読ませる。

- ・ワークシートに以下のことを記入させる。

資料から読み取り気づいたこと、初めて知ったこと。

資料を読んだ感想。

知りたいこと。

○4 時間目 日本とジンバブエ

- ・日本とジンバブエの基本的、テーマにかかわるデータの比較を行う。

日本の数値については地図帳などで調べさせて記入させ、また生活関連の数値については、日本のものを提示しジンバブエについては予想値を記入させた。

生徒はジンバブエの、出生時余命の短さやエイズの感染率の高さに驚いた。また識字率の高さは予想外であったと答えていた。

○5 時間目 ゲスト（元ジンバブエ派遣青年海外協力隊隊員）を迎えて 中間発表会

- ・グループごとの写真と資料からの読み取り、自分たちの感想や質問を紹介しあった。

- ・ゲストの元ジンバブエ派遣協力隊隊員の深山知美さんからジンバブエについての紹介と、質問に答えていただく。

すべての質問に答えていただくことではなく、生徒にさらに追求する課題は課題として再提示する。

- ・生徒の気づきや主な感想

貧富の差 都市と農村の生活の差 想像以上に豊かな農地 寮生の学校

学校生活 主食・食事はどのようなものか

○6 時間目 「平和な世界」 実現のための行動計画

「平和な世界」とはどのような世界だろうか。それぞれの考えをワークシートに記入する。また、その世界実現のために、今の自分がすること、将来の自分がしたいことについて記入する。

○7 時間目 ジンバブエ「平和な世界」実現に向けて

- ・各グループ「平和な世界」とその行動計画の発表を行う。